

## 会議の要旨

会議の名称	平成29年度第3回川越市地域包括支援センター等運営協議会
開催日時	平成30年3月26日(月) 14時30分 開会 ・ 16時30分 閉会
開催場所	川越市医師会館 4階 講堂 A,B
会長氏名	齊藤正身会長
出席委員氏名	中山副会長、久保木委員、田中委員、尾寄委員、小川委員、本間委員、岡持委員、入江委員、伊藤委員、矢部委員、木野田委員、夏目委員 (13名)
欠席委員氏名	栗田委員
事務局職員氏名	介護保険課 小高副部長、今井副課長 健康づくり支援課 嶋崎課長、佐藤副主幹 地域包括ケア推進課 福原参事、佐藤主幹、佐藤副主幹、吉川主査
オブザーバー	川越市地域包括支援センターキングスガーデン 安原氏 〃 小仙波 渡邊氏 〃 連雀町 石井氏・佐藤氏(機能強化型) 〃 よしの 寄藤氏 〃 たかしな 原島氏 〃 みずほ 讃岐氏 〃 だいとう 高瀬氏 〃 かすみ 赤沼氏 〃 みなみかぜ 高橋氏 (9包括10名)
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 報告 (1) 平成30年度第2回地域包括支援センター等運営協議会要旨について (2) 認知症初期集中支援チームの活動状況について (3) 自立支援型地域ケア会議(試行)実施状況について (4) 地域包括支援センター運営事業評価について (5) 認知症サポーターフォローアップ研修・キャラバンメイト情報交換会の報告について (6) すこやかプラン・川越 川越市高齢者保健福祉計画・第7期川越市介護保険事業計画の策定結果について (7) 地域密着型サービスの指定状況について

	<p>4 議 事</p> <p>(1) 平成30年度地域包括支援センター運営方針（案）について</p> <p>(2) 予防給付ケアプラン委託居宅介護支援事業所の承認について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>
配布資料	<p>1 次第</p> <p>2 資料1 平成29年度第2回地域包括支援センター等運営協議会要旨</p> <p>3 資料2-1 認知症初期集中支援チームの活動状況について</p> <p>資料2-2 認知症初期集中支援チーム 対象者一覧</p> <p>参考 認知症初期集中支援チーム事業実施上の課題（埼玉県）</p> <p>4 資料3-1 平成29年度自立支援型地域ケア会議（試行）実施状況について</p> <p>資料3-2 自立支援型地域ケア会議（試行）事例一覧（一部抜粋）</p> <p>5 資料4-1 地域包括支援センター運営事業評価</p> <p>資料4-2 地域包括支援センター運営事業評価表（自己評価）</p> <p>資料4-3 平成29年度 川越市地域包括支援センター運営事業評価（自己評価）</p> <p>6 資料5 「認知症サポーターフォローアップ講座」「キャラバンメイト研修及び情報交換会」の開催報告について</p> <p>7 資料6 すこやかプラン・川越ー川越市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画ーの概要について</p> <p>8 資料7 地域密着型サービスの指定状況について</p> <p>9 資料8 平成30年度 川越市地域包括支援センター運営方針（案）</p> <p>10 資料9 予防給付ケアプラン委託居宅支援事業所の承認について</p>

## 議 事 の 経 過

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 報告

・傍聴人の確認 〈傍聴人1名〉

#### (1) 平成29年度第2回地域包括支援センター運営等協議会会議要旨について

【資料1】を基に事務局より報告する。

意見・質疑等なし

#### (2) 認知症初期集中支援チームの活動状況について

【資料2】を基に事務局より報告する。

〈会長〉川越市医師会としても連携し取組んでいる事業。認知症初期集中支援チームのあり方については、必ずしも認知症初期集中チームが介入するのではなく、他の認知症の受診を対応している医療機関と連携し対応している事例もある。今後は、そのようなデータが収集できれば、検討していけるのでないか。

#### (3) 自立支援型地域ケア会議（試行）実施状況について

【資料3】を基に事務局より報告する。

〈会長〉事例1件の検討に関わる所要時間はどのくらいか。

〈事務局〉1事例、30分。

〈委員〉埼玉県の自立支援型地域ケア会議の立ち上げ支援に関わっており、県内8市町村の支援を行っている。個別事例から地域課題を把握し、検討する場をどのように考えているのか。

〈事務局〉今後、課題の整理を行い、担当圏域ケア会議や生活支援体制整備推進事業等で検討をしていきたいと考えている。

〈委員〉事例検討を積み重ねていくと、地域課題が見えてくる。市が開催する地域ケア推進会議を実施し、検討していくとよいと思われる。

〈会長〉個別ケア会議や自立支援型地域ケア会議の地域ケア会議全体としての位置付けや、地域ケア会議の体系や流れが出来ていないのでないか。

〈事務局〉担当圏域ケア会議はすべての地域包括支援センターで実施していない。また、担当圏域ケア会議で検討した課題についても集約できていないため、地域ケア推進会議で検討をしていきたい。

〈会長〉地域ケア会議を含め、今後は、この会議において検討してきた内容が、すこやかプランに反映できるよう、つながりのある会議となるとよい。

#### (4) 地域包括支援センター運営事業評価の実施について

【資料4】を基に事務局より報告する。

〈小川委員〉資料4-1の成年後見制度の周知啓発はどのように行っているのか。

〈包括〉総合相談等で相談を頂いた方や、認知症家族介護教室等の事業にてリーフレットを配布し、成年後見制度の説明を行っている。

〈包括〉相談においては、ケアマネジャーからの相談が多い。成年後見制度の利用等、今後の支援の検討や周知を行っている。

〈包括〉2月に、成年後見人等を受任している弁護士を講師に、「成年後見制度」について講座を開催した。参加者の様子から、高齢者の関心が非常に高いと感じている。

〈会長〉包括みずほのような取組みは、個々の地域包括支援センターが実施するのではなく、合同で開催していくこともよいと思われる。また、地域包括支援センターの自己評価からの課題を受けて次年度等に市としてどのように反映させるのか。

〈事務局〉毎年、地域包括支援センター毎に活動計画をたてている。次年度にどのように活動していくか、課題を含め互いに検討していきたい。また、今後の議事でもある地域包括支援センター運営方針に反映させていくことを検討する。

〈委員〉課題がわかりやすい地域包括支援センターと、わかりにくい地域包括支援センターがある。誰がみても、わかりやすいように課題をまとめるとよいと思われる。

〈会長〉課題についても、市で項目を整理し、項目だてをして課題をあげられるとよい。

〈委員〉地域包括支援センターの評価と、市の評価がマッチングしていない部分があり、連動性がわかりにくい。

〈事務局〉連動できていないこと、課題に取り組めていない現状はある。

〈会長〉先程と同様、この会議で検討し取組んだ内容が、計画等に反映できるよう進めていけるとよい。

#### (5) 認知症サポーターフォローアップ研修・キャラバンメイト情報交換会の報告について

【資料5】を基に事務局より報告する。

〈委員〉フォローアップ研修ということであるが、フォローアップ後の認知症サポーターの活動をどのようにつなげていくのか。

〈事務局〉今回のフォローアップ研修は、まず第1回目として、認知症に関する取組みについての情報共有を目的に開催している。認知症サポーターの活動の場については、現在、検討中である。

〈会長〉認知症サポーターとして何かを活動するのではなく、認知症サポーターとして意識を持った方が地域でどのように活動するのかという視点が大切である。

(6) すこやかプラン・川越 川越市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の策定結果について

【資料6】を基に事務局より報告する。

意見・質疑等なし

(7) 地域密着型サービスの指定状況について

【資料7】を基に事務局より報告する。

〈会長〉今後の資料については、現在、市内にある地域密着型サービスの整備状況がわかるようにしてもらえるとよい。

#### 4 議事

(1) 平成30年度地域包括支援センター運営方針（案）について

【資料7】を基に事務局より説明する。

〈委員〉自己評価の課題から、地域課題が見受けられる部分もある。市として地域課題の検討に取組む意識付けも含め、運営方針に明記してはどうか。また、今後は一般介護予防事業と生活支援コーディネーターとの連携が重要と思われる。

〈委員〉関係機関との連携強化において、65歳以上になった障害者の方の支援について、障害者相談支援センターとケアマネジャーとの連携による対応が求められている。文章で明記とまでではなく、意識として持つて頂く必要がある。

〈会長〉関係機関との連携は、CCNかわごえだけではない。障害者の分野との連携も大切であるため、運営方針を工夫できるとよい。

〈委員〉川越市は、機能強化型地域包括支援センターがあり、介護予防の活動を行っている。その活動における課題など、この会議において検討していけるとよいと思われる。

〈会長〉機能強化型地域包括支援センターとしては、活動の中での課題はあるか。

〈機能強化型包括〉現在、実施している事業を連動をさせていくことが課題。来年度、事業の整理を行い、平成31年度、平成32年度と計画を立てながらより効果的な取組みとなるようにしていく必要を感じている。

川越市内には、500名を超える介護予防サポーターが活動しており、貴重な役割を担って頂いている。研修会や情報交換会等を開催するなど、その方々のフォローアップ体制を構築していくことが必要。

自主グループも市内180箇所があるが、市内の高齢者数からみれば、行き届いていない。いもっこ体操教室以外の方法でも通いの場を増やす方法もあるとよい。

また、介護予防の取組みは、地域包括支援センター以外にも、保健センターや生きがいデイサービスなど、豊富にあるのが川越市の特徴。協働して取り組んでいかなくてはならない。

〈会長〉機能強化型地域包括支援センターの自己評価は、地域包括支援センター連雀町の自己評価は盛り込まれているか。

〈包括〉今回は、地域包括支援センター連雀町のみの部分となっている。今後は、機能強化型も自己評価を実施した方がよいと感じている。

〈会長〉通いの場については、数だけの問題ではない。どのように、機能させていくのか検討が必要。

〈委員〉自主グループについては、実施場所がないとの声が多く聞かれる。自治会館は、空いている時間帯がない場所もあり、小学校の空き教室や空き家の活用など、住民の取組みがしっかりつながるようにしていかななくてはならない。

〈委員〉重点・取組事項の「地域包括支援センターシステムの利用による各事業の効率化を推進」の部分で、「効率化を推進」をよりわかりやすく工夫してはどうか。

〈事務局〉地域包括支援センターシステムは、市と地域包括支援センターをつなぐ、情報（事務）システムであり、システムを活用して、事業の効率化を図るという目的で明記している。

〈会長〉現在の表現であるとそのような意味でとらえにくい。「地域包括支援センターシステム」と「各事業の効率化」がつながるよう、わかりやすい表現にしてはどうか。運営方針については、これ以上ない程、項目が明記されている。やはり、この多くの取組み（項目）をいかに連動させていくかが重要。

## (2) 予防給付ケアプラン委託居宅介護支援事業所の承認について

【資料8】を基に事務局より説明する。

承認される。

## 5 その他

〈事務局〉

- ・平成30年3月をもって、3年間の委員任期が満了となります。委員の皆様には、長きにわたりありがとうございました。
- ・次回会議は、平成30年7月または8月を予定。

## 6 閉会